



資料提供先
山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

## ふるさと 手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)の 認定証授与式を行います

この度、第34回手づくり郷土賞において、山口県より大賞部門1件、一般部門1件の合わせて2件の取組が認定されました。これを受けて、国土交通大臣表彰授与式を下記のとおり行います。

### 1. 大賞部門

【受賞件名】

■もり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくり

【授与式】

■日 時：令和2年1月31日（金） 10：00～

■場 所：山口県庁 9F 環境生活部1号会議室  
（山口県山口市滝町1番1号）

【出席者】

■受賞団体：榎野川流域連携促進協議会、山口県環境生活部長、山口市環境部長  
■授与者：中国地方整備局副局長

### 2. 一般部門

【受賞件名】

■佐波川の新しい空間 そして未来へ！ ～小野水辺の楽校～

【授与式】

■日 時：令和2年1月31日（金） 14：00～

■場 所：山口河川国道事務所（防府市国衙1丁目10番20号）

【出席者】

■受賞団体：小野水辺の楽校空間利用を考える会  
■授与者：中国地方整備局副局長  
■来賓：防府市長

### 〇問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

大賞部門担当：総括保全対策官 藤原 功（ふじはら いさお）

一般部門担当：副所長 柳田 敏信（やなぎだ としのぶ）

TEL（0835）22-1785（代表）

山口河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

## 【大賞部門】

### 【受賞案件概要】

(山口県・山口市)

#### もり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくり



榎野川河口干潟再生活動2018



フェスの様子

#### ＜活動内容＞

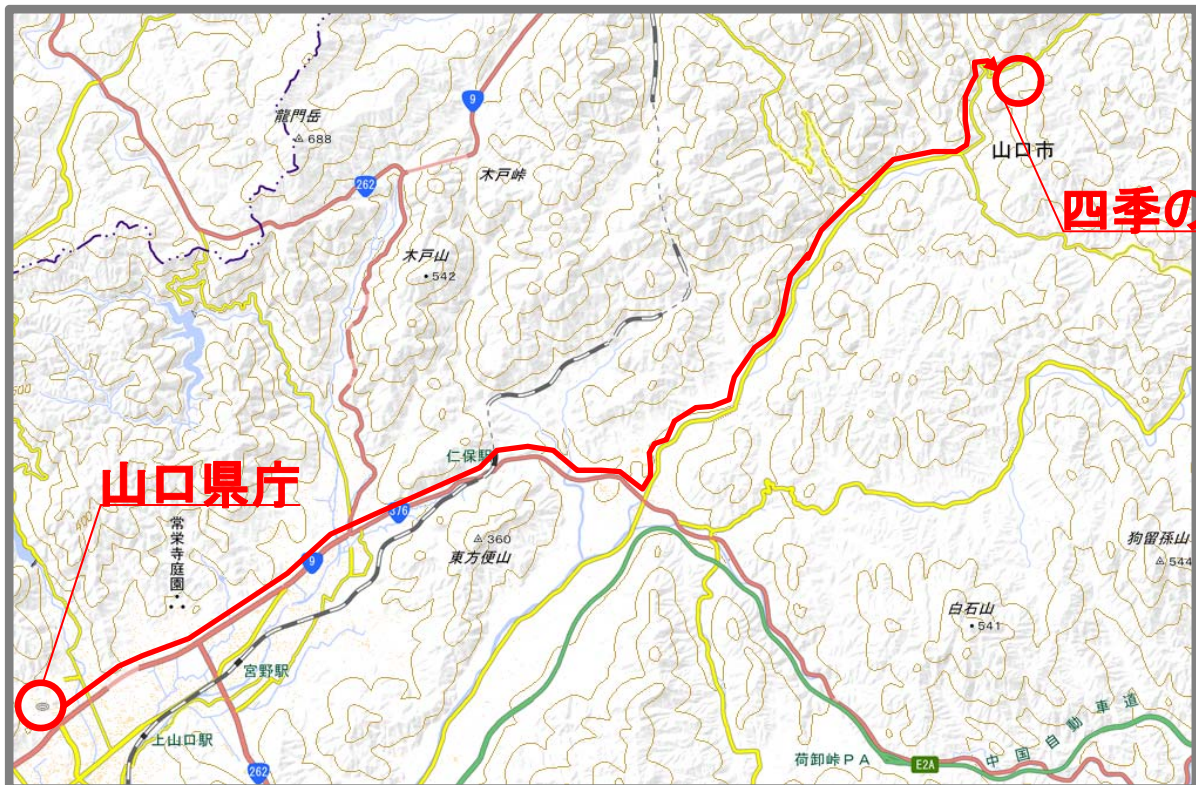
平成13年に源流域の保全から始めた活動は、上中下流域の連携・協働による森林整備、河川清掃、干潟再生等の流域全体の環境保全活動へと展開し、前回受賞したH17年と比較し、イベント開催回数が年3回から24回に、年間参加者も4.5千人から30千人に増加するなど、活動を発展させてきた。更に環境学習の充実や日本ユネスコ協会の未来遺産登録など環境保全・再生の活動を広める取組みを行った結果、県内外の企業から助成、支援、活動への参加(12社)に繋がるなど、活動は流域圏を超えて波及している。

#### ＜地域活動団体＞

榎野川流域連携促進協議会

### 【現地視察箇所】 四季の森

四季の森は、榎野川の源流を守るために地域の方々を中心に整備され、本取り組みのきっかけとなった場所です。



出典: 国土地理院ウェブサイト「地理院地図(電子国土Web)」をもとに  
国土交通省山口河川国道事務所で加工して作成

※山口県庁を11時00分頃出発、  
四季の森に11時25分頃到着予定

## [一般部門]

## 【受賞案件概要】

(山口県・防府市)

## 佐波川の新しい空間 そして未来へ！ ～小野水辺の楽校～



水辺の楽校オープニング



令和元年 こいながし

## &lt;活動内容&gt;

小野水辺の楽校の建設前は、川に親しむ活動を行い、建設に当たってはどんな水辺の楽校がいいか提案し、完成後は維持管理も含め、年間を通じて楽しめるような活動を仕掛けている他、小中学生を対象にした防災活動にも取り組んでいる。平成20年より「こいながし」を地元自治会と継続して実施してきた結果、SNSを通じて広く認知され、スタッフ300人、来場者数15,000人が集まる一大イベントへと定着し、JA山口県のカレンダーに防府市を代表する風景として採用されるなど、郷土愛の醸成にも貢献している。

## &lt;地域活動団体&gt;

小野水辺の楽校空間利用を考える会

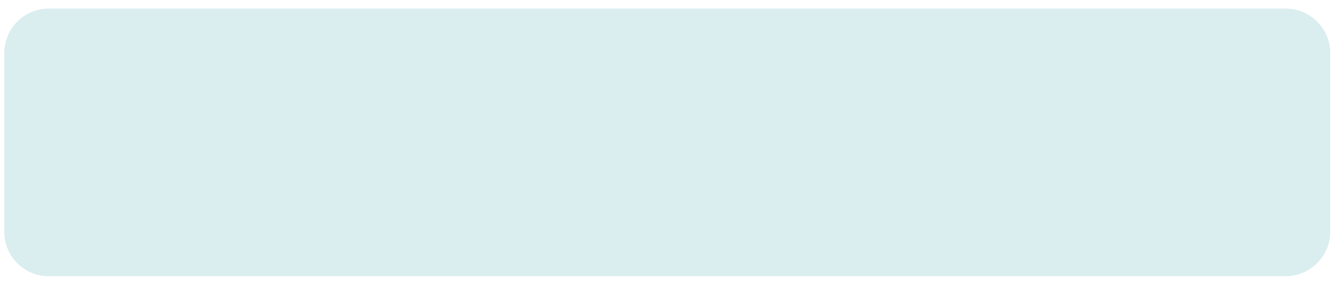
## 【現地視察箇所】 小野水辺の楽校



**小野水辺の楽校**

出典：国土地理院ウェブサイト「地理院地図(電子国土Web)」をもとに  
国土交通省山口河川国道事務所で作成

※小野水辺の楽校に13時10分頃到着予定



WÜŠ  
@] KQ , , È |ãÉ [ È Ð [ \* [ • ^ ã æ ˇ Ð ^ \* ã } Ð ^ á ˇ \ ˇ |ã

